

臨床研究情報

【研究題名】

心肺負荷試験（CPX）における嫌気性代謝閾値（AT）と二重積の関係についての調査

【研究機関】

大阪赤十字病院 リハビリテーション科

【研究責任者】

大阪赤十字病院 リハビリテーション科 中村 珍輔

【研究の目的】

心疾患は日本の死因第2位であり、疾患の治療や予防に対して様々な医療が提供されている。心臓リハビリテーション（以下心リハ）もその一役を担っており心肺負荷試験（CPX）はその効果を判定する上で重要な検査の一つとされている。当院でも2016年から心臓リハビリテーション部門を開設し、2022年からは外来患者に対しても心リハを実施している。CPXを用いることで、運動負荷の目安となる嫌気性代謝閾値（AT）を算出することが出来る。CPXが用いられる前は心拍数と収縮期血圧を乗算する事で得られる二重積が運動指標の目安とされてきた。この二重積はATと近似するとされてきたが、当院でのCPXの結果を調査するとATと二重積が相関しない症例が多くみられた。今回の研究は相関しない症例に於いてどのような要因が影響しているのかを調査する。要因を調査する事で患者毎にCPX或いは二重積を選択して過負荷にならない安全な運動指標を用いる事につながるのではないかと考える。

【研究方法】

・対象

2022年5月1日から2023年6月30日の間に、当院でCPXを行った患者

・方法

後ろ向き観察研究

・利用する情報

CPXから得られた各検査項目、年齢、性別、および疾患に関する情報。氏名や住所と言った患者を特定できる情報は収集しない。

・外部への情報は提供方法

外部への提供は行わない。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご意見、ご質問は下記にご連絡ください。また、収集した情報が当該研究に用いられることについて患者若しくは代理人にご了承いただけない場合は研究対象から除外させていただきます。

この研究は国の定めた指針に従い、当院の医療倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

大阪赤十字病院 リハビリテーション科 中村 珍輔

〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

TEL 06-6774-5111

FAX 06-6774-5131

倫理審査委員会申請日 2023年6月30日